PRESS RELEASE

報道関係者 各位

2022 年 5 月 2 日
EDIX（教育総合展）事務局

教育分野の展示会内で開催 業界の第一人者によるセミナー

最先端教育の事例、リカレント教育、教育 DX など 3 日間で 22 セッション

RX Japan 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：田中 岳志）は 2022 年 5 月 11 日（水）～13 日（金）の 3 日間、東京ビッグサイト 西展示棟で「第 13 回 EDIX（教育総合展）東京」を開催します。
今年で 13 回目を迎える EDIX（教育総合展）東京は日本最大*の教育分野の展示会です。展示会場では、セミナーを開催しており、3 日間で 22 セッション。業界の第一人者が講師として登壇し、最先端教育の事例、リカレント教育、教育 DX など、今、注目のテーマについて講演いただきます。知識の向上だけでなく、臨場感や熱量が感じられるのはオフラインならでは。また、展示会と同時開催であることも本セミナーの特長です。実際の製品を見て、出展企業と会話をすることでより理解を深められ、教育現場における課題解決のヒントやアイディアの創出にもつながります。
本リリースでは、今回の注目セミナーを一部抜粋して、ご紹介します。

注目セミナー①：【ED-S18】これからの学びと Apple
急速に変化する世界で子どもたちが将来に備えるため、どのような学びを提供するべきなのだろうか。これからの学びを実現する要素とさらにその要素を発展させるために Apple が取り組んでいる内容を紹介する。



注目セミナー②：【ED-S4】「Future of School」ひとり１台のその先へ　―世界中を教室に―

一人ひとりが目的に合わせて端末を使う姿が、学校の新しい日常になりつつあり、世界も日本の動向に注目をしている。１人１台端末でどのような学びの変化が実現したのか、未来を見据えた次の一歩は何なのか、一緒に考える。



注目セミナー③：【ED-S7】Microsoft Education が目指す児童生徒主体の学びと教育変革

一人一台端末が整備され、授業や校務のあり方に大きな変化が起こり始めている。教育クラウドを活用することで生徒の学び方、先生たちの働き方が変わった海外や日本の事例、今後の ICT 教育ついてご紹介する。



注目セミナー④：【ED-S13】リカレント教育（社会人の学び直し） ～今、大学・企業に求められるもの～

人生 100 年時代や Society5.0 の到来を見据え、人生をより豊かにするための重要な手段として掲げられる「リカレント教育」。その重要性はますます高まっており、本講演ではその最新動向等についてお伝えする。



注目セミナー⑤：【ED-S17】ニューノーマル時代における高等教育 DX のこれからの展開

経済・社会構造が劇的に変化する中、とりわけ急速に進展したデジタル化に対応できる人材の育成は喫緊の課題となっている。これからの高等教育におけるデジタル人材育成及びデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の観点から、政府の取組みの概要を解説する。



＜ 第 13 回 EDIX（教育総合展）東京 開催概要 ＞

会　　期：2022 年 5 月 11 日（水）～13 日（金）10:00～18:00（最終日のみ 17:00 終了）
会　　場：東京ビッグサイト 西展示棟
主　　催：EDIX 実行委員会
企画運営：RX Japan 株式会社（旧社名：リード エグジビション ジャパン）
後援団体：
文部科学省、経済産業省、日本教育情報化振興会、全国 ICT 教育首長協議会、ICT CONNECT 21、超教育協会、大学 ICT 推進協議会、私立大学情報教育協会、日本イーラーニングコンソシアム
構成展示会：
第 13 回 教育 IT ソリューション EXPO／第 5 回 ［学校］施設・サービス EXPO／第 3 回 STEAM 教育 EXPO／第 2 回 保育・幼稚園 ICT 化 EXPO／第 2 回 人材育成・研修 EXPO

*日本最大…同種の展示会との出展社数、製品展示面積の比較。
※社数…同時開催展を含む最終見込み数。開催時には増減の可能性があります。

【取材に関するお問い合わせ】
ご取材の申し込み：https://regist.reedexpo.co.jp/expo/EDIX/?lg=jp&tp=press&ec=EDIX
企画運営：RX Japan 株式会社（旧社名：リード エグジビション ジャパン）
EDIX（教育総合展）事務局 広報担当 神田
TEL：03-3349-8749　FAX：03-3344-2400　E メール：yurino.kanda@rxglobal.com
公式サイト：https://www.edix-expo.jp/tokyo/ja-jp.html